

関西テレビ放送

事業の名称

Panasonic × フジテレビ × カンテレ 共催
～ スペシャル コラボ ワークショップ ～

共同で事業を実施した団体

- ・ パナソニック：参加者の募集、セミナー当日の参加者側の技術協力
- ・ フジテレビ：当社と同様にセミナー内容の企画・実施

事業概要

コンテンツ制作や映像表現に興味を持つ子どもたちを対象に、SDGsをテーマにした映像制作に取り組んでもらうセミナーを企画。新型コロナウイルス感染拡大前からパナソニックのCSR担当者と内容について相談していましたが、2021年4月になってもコロナ禍の猛威は衰えることなく、実施を予定していた2021年の夏休みに対面でセミナーを開催することは不可能という判断をせざるを得ませんでした。また、企画を進める中で、フジテレビのCSR担当者とも話し合い、当該セミナーをパナソニック、フジテレビ、関西テレビの3社で開催することになりました。

セミナーはオンラインで開催し、実施概要は下記のとおりです。

- ◆日時 2021年8月5日(木) フジテレビ担当
8月6日(金) 関西テレビ担当
両日とも、10:00～12:00【小学生】 13:30～15:30【中学生・高校生】
- ◆内容(当社分のみ)
 - ①映像編集について学ぶ／講師：矢野 数馬エディター
 - ②ナレーション講習／講師：村西 利恵アナウンサー
- ◆参加者(当社分のみ)
 - 【小学生】の部 20人
 - 【中学生・高校生】の部 89人

主催する3社は、参加する子どもたちに、テレビ局で働く者の生の声とともに番組制作の現場を見てもらいたいと考え、その方法についてフジテレビ、関西テレビ双方で検討を重ねました。その結果、フジテレビはスタジオを紹介するVTRを制作。当社は360°カメラで、報道スタジオと副調整室をそこで働く人物込みで撮影し、仕事内容ややりがいなどをコメントした映像をリンクさせたオンラインコンテンツを制作して、セミナーで参加者に紹介しました。参加者の中に、聴覚障がい者がいたこともあり、音声コメントは全て字幕表記しました。

社内見学はコロナ禍のため2020年2月から中止していますが、従来は説明員として

数人の社員が見学者と交流するだけで、報道番組のOAの際、スタジオにいるスタッフを見ることはできませんし、すべての仕事について説明を受けることはありません。また、社内見学のために当社を訪れる機会は限られていることから、今回のオンラインコンテンツは、コロナ禍が生んだ新しい形の社内見学と考えます。セミナー実施以降も、「まるっと360°カンテレ社内見学オンラインツアー」と名付けて、当社のホームページに公開し、地域・年代を越えて広くメディアリテラシーの啓発に活用しています。

事業の成果

オンラインセミナーに対する感想の一例です。

- ・ インタビューでは内容ばかりに気が向いてしまいがちだが、表情やムードも大事だと気づいたので相手の雰囲気も伝えられるよう工夫したい。
- ・ 一番は動画を料理に例えて話していたこと。最初は「え!？」と思ったが、話を聞いていると、とても分かりやすかった。
- ・ 詰め込みすぎて窮屈になったとき「思い切ってテロップやナレーションが多いところを思い切ってカットしてみたら」というアドバイスが参考になった。BGM、テロップ、ナレーションはスパイスであり、少しでいいということもわかった。

また、オンライン社内見学は、セミナー当日8月6日から12月15日までの間に、2,988件のアクセスがありました。コロナ禍以前の社内見学は年間1,000人余りでしたので、約4カ月の間に、かつての年間見学者の3倍に当たる数の方が、放送局の仕事に触れてくださったこととなります。

こちらにも、次のような感想が寄せられました。

- ・ 一つの番組のためにたくさんの人が働いていて、チームワークなしでは番組は成り立たないということを知った。
- ・ テレビを見て、この企画を知った。テレビの裏側の仕事についてなんとなく知っていたが、実際に仕事をされている方の説明を聞くと、なるほどなと思うことがたくさんあった。

以 上